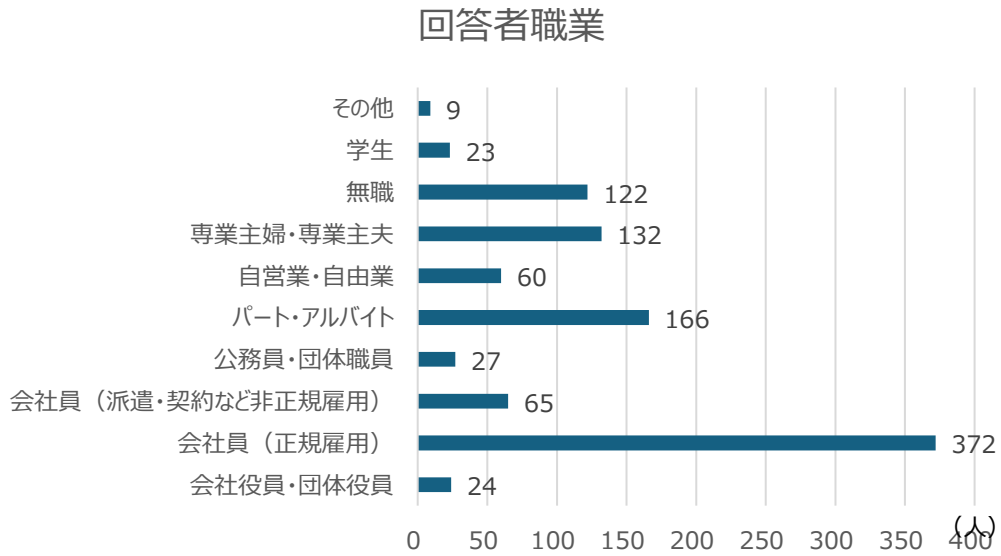
参考１

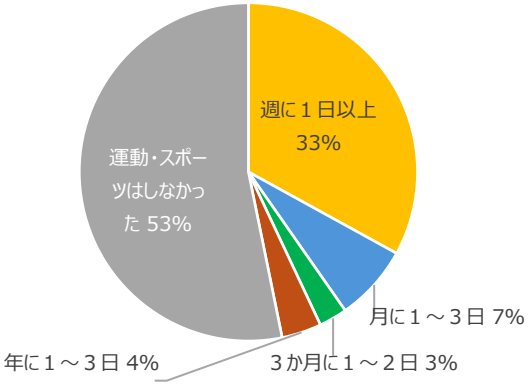
大阪府政策マーケティング・リサーチ「おおさかQネット」（R8）調査結果

【調査対象】
府内在住の18歳から90歳までの男女1,000人
・各年代（10代及び20代のみ合計）100人ずつ
・男女各500人

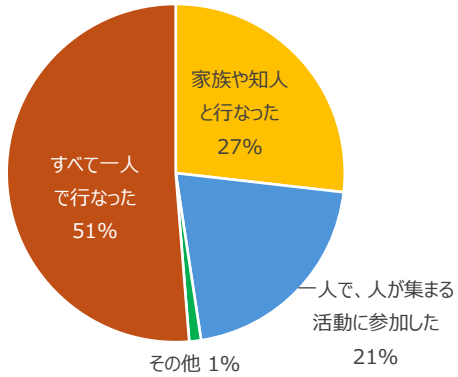


①

運動・スポーツ実施率

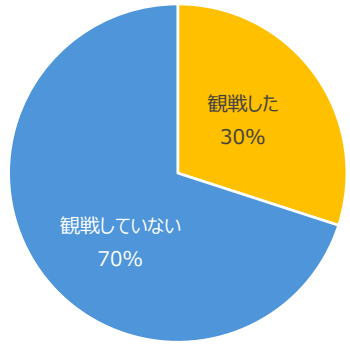


どなたと運動・スポーツを行ったか

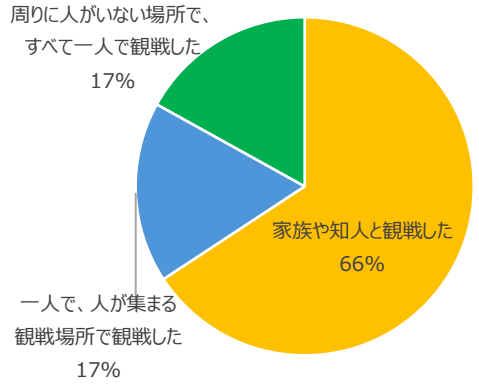


②

スポーツ観戦率

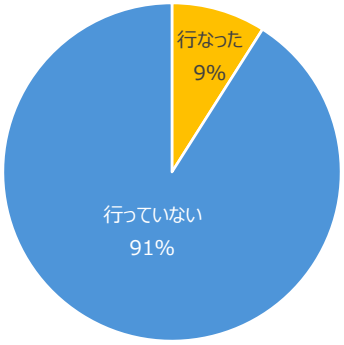


どのような形でスポーツ観戦したか

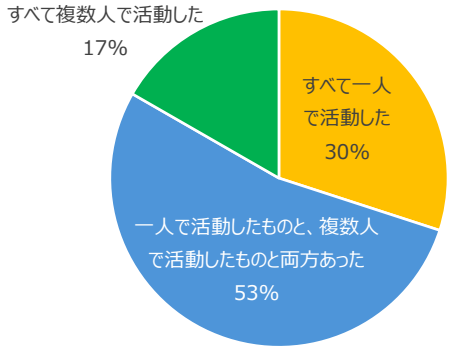


③

ささえる活動を行った割合

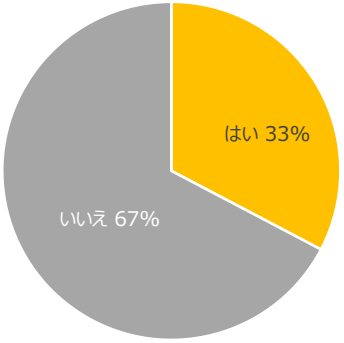


どのような形でささえる活動を行ったか



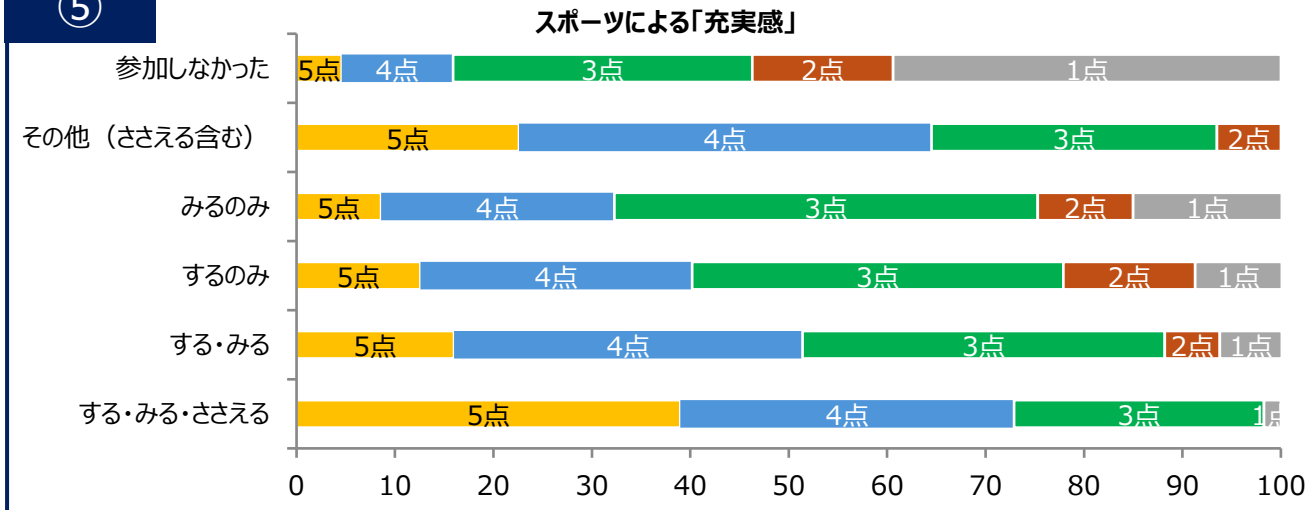
④

スポーツを通じた新たな交流が生まれたか

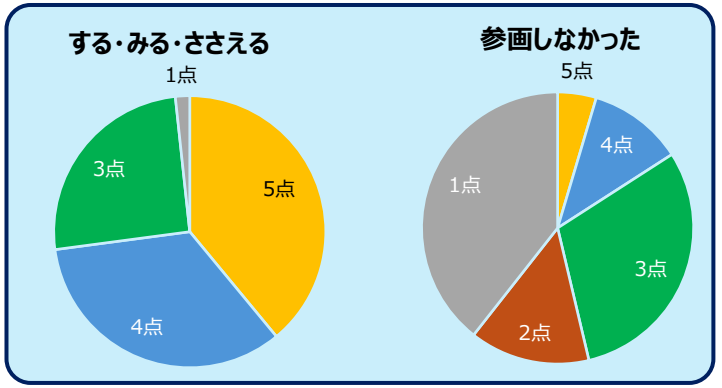


① 週1日以上の運動・スポーツ実施率は33%であった。運動・スポーツを行った人の51%はすべて一人で行ったと回答。
② スポーツ観戦率は30%であった。観戦した人の66%は家族や知人と観戦したと回答。
③ スポーツをささえる活動を行った人の割合は９%であった。
④ スポーツに参画した人の33%は新たな交流が生まれたと回答。

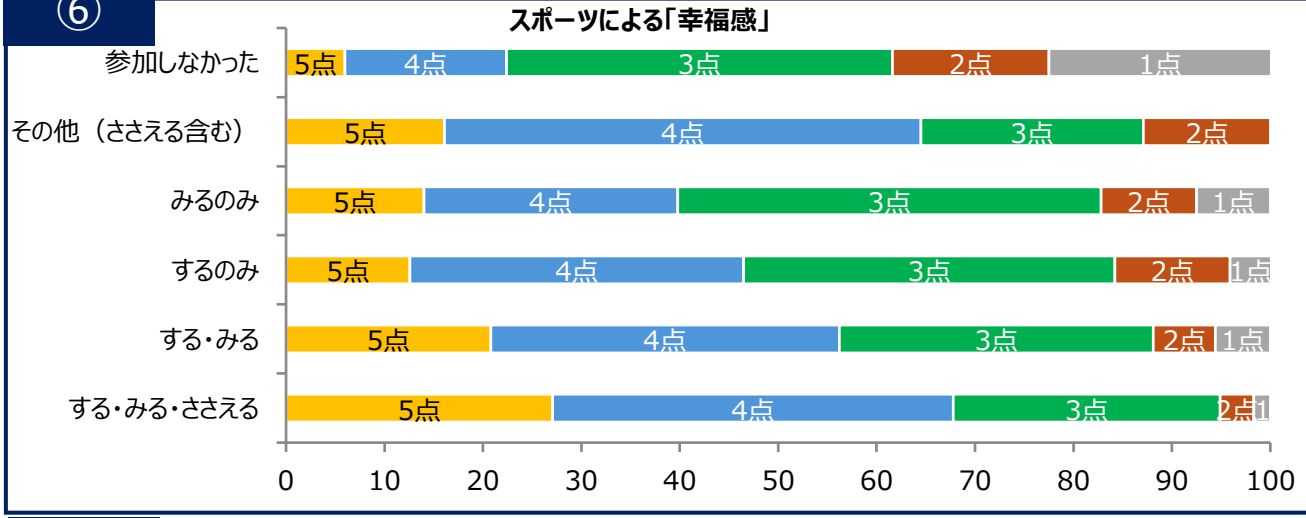
⑤



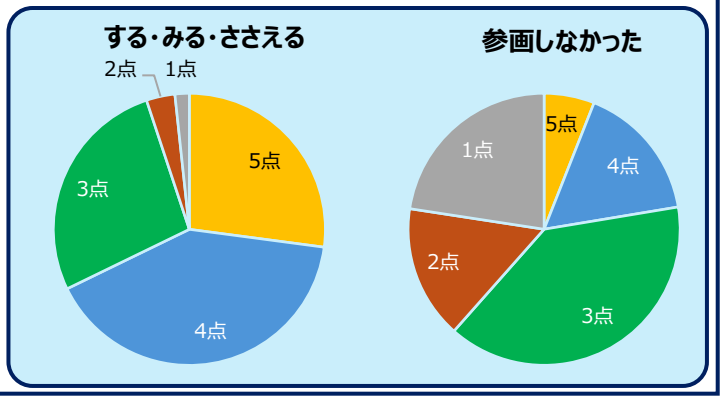
5点：十分に充実感を感じている
1点：ほとんど充実感を感じていない
4点以上を充実感を感じていると想定



⑥



5点：とても幸せ
1点：とても不幸せ
4点以上を幸福感を感じていると想定



⑦

スポーツで生まれた交流の有無による「充実感」「幸福感」への影響

項目	交流あり	交流なし	差
充実感あり（4～5点）	75.8%	31.9%	43.9pt
幸福感あり（4～5点）	74.5%	32.5%	42.0pt

⑤ 「する・みる・ささえる」に参画した人の72.9%が充実感を感じており、スポーツに参画しなかった人の84.1%は充実感を感じていない。
⑥ 「する・みる・ささえる」に参画した人の67.8%が幸福感を感じており、スポーツに参画しなかった人の77.7%は幸福感を感じていない。
⑦ 「充実感」「幸福感」ともに交流ありが交流なしを上回った。

第４次大阪府スポーツ推進計画　参考指標 『スポーツを通じた「つながり」で「充実感」「幸福感」を感じた割合』 **充実感：75.8%　幸福感：74.5%**